

北部事業予定地の事業概要

H24.12 環）施設管理課

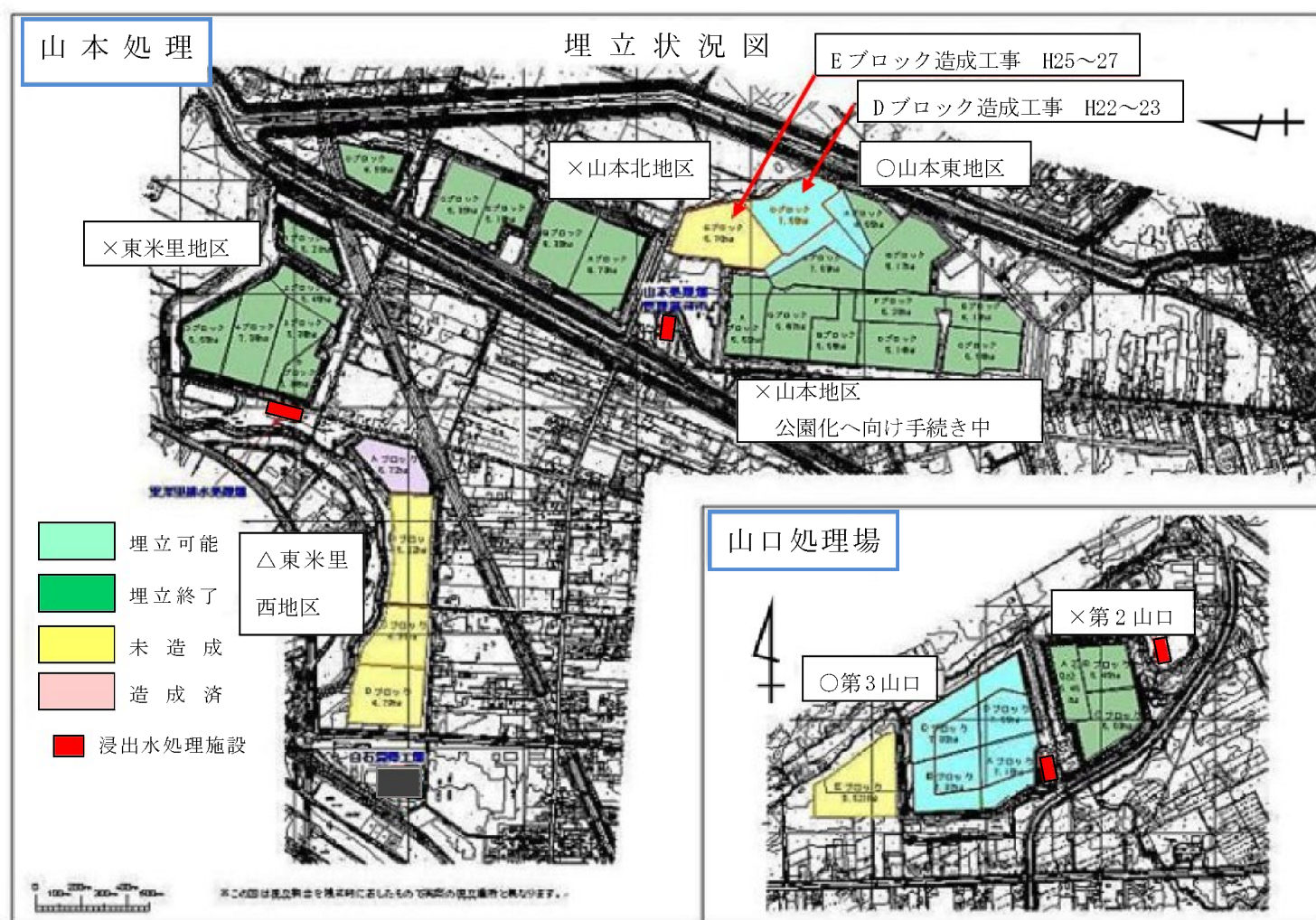
1 ごみ処理状況と最終処分場

国における循環型社会への取り組みの一環として、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、建設リサイクル法等の各種リサイクル法が順次整備されたことにより、全国的にごみ量が減少しています。札幌市においても、事業系ごみを含むごみ処理総量が平成3年度にピークの約118万トンとなりましたが、その後減量が進み、また平成21年7月からの新ごみルールスタートにより、平成23年度では約61万トンにまで減少しています。

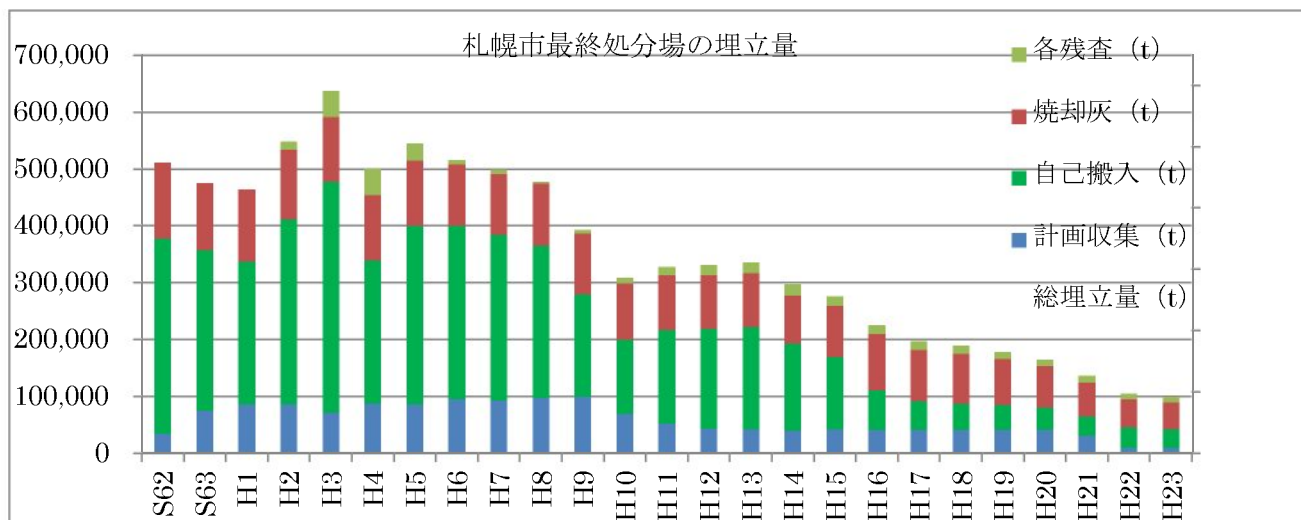
現在ごみ処理は、資源となるものを選別・リサイクル(約12万トン)し、リサイクルできない燃やせるごみを3清掃工場で焼却(約45万トン)して熱回収を行い、燃やせないごみ(約4万トン)や焼却灰等の残渣(約6万t)を、2箇所の最終処分場で埋立て処分(計約10万トン)しています。

(別紙: ごみ処置施設配置参照)

札幌市の最終処分場は、東方面の山本処理場と西方面の山口処理場があり、埋立ごみ量の減少により、未造成地を含め約30年程度の残余年数があります。しかしながら、残余年数が確実に減っていく一方で、新たなごみ埋立地確保は今後ますます困難になることが予想され、将来のごみ埋立地の確保に向けた事業を着実に進めていく必要があります。



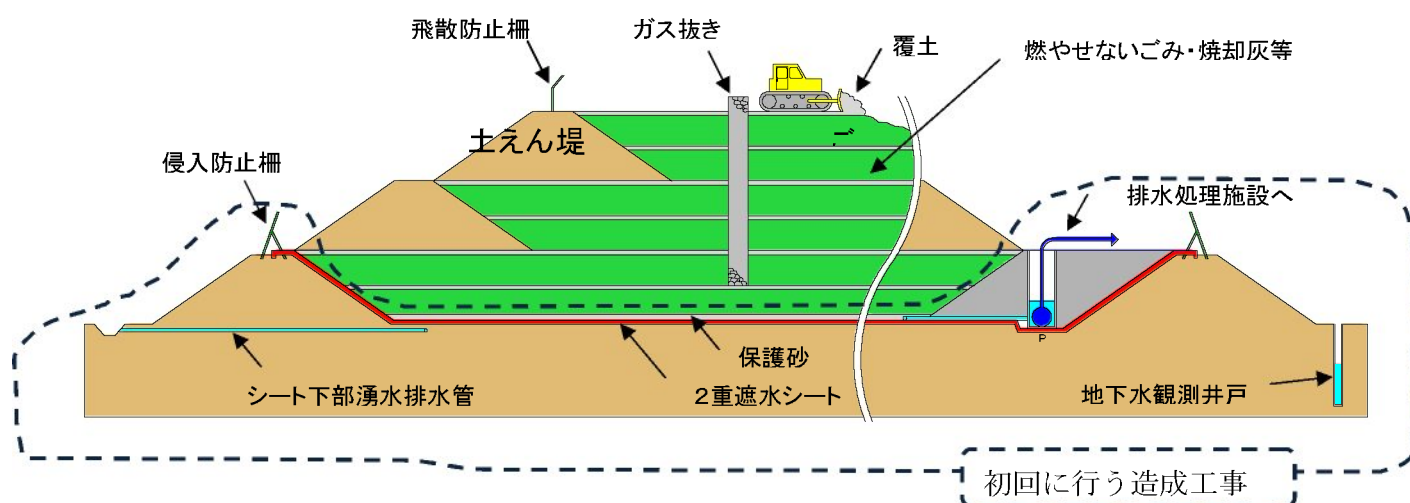
札幌市の埋立処理量は、平成3年に約63万トン記録しましたが、各種リサイクル法による廃棄物の減少、産業廃棄物受入縮小や自己搬入ごみの搬入指導、新ごみルールによる有料化や市民の協力もあり、平成23年度では約10万トンとなっています。



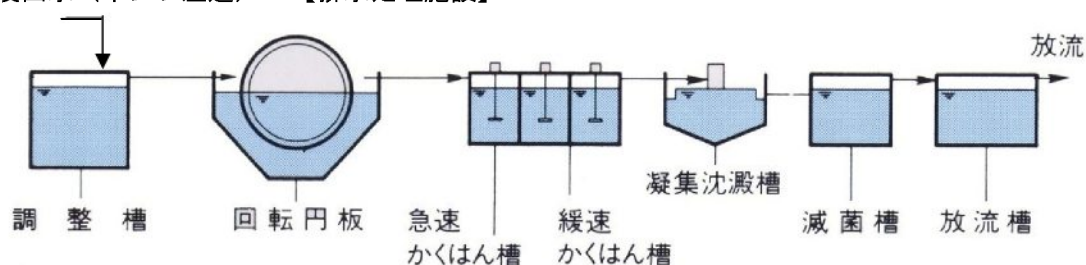
2 埋立地の構造

札幌市の埋立地は陸上平地型のもので、層上に盛り上げる形で埋立を行っています。

廃棄物の分解を促進するため、廃棄物と火山灰を交互に埋立してし、ガス抜き設備等と合わせ埋立地内を準好気性に保ちます。しゃ水工はしゃ水シートを二重化して下部地盤と遮断し、浸出水を処理施設で処理後河川または下水へ放流しています。また、周縁に観測井を設けモニタリングを行っています。この他、侵入及び飛散防止柵やシート下部には湧水等を排水する管を設けています。



埋立地からの浸出水（ポンプ圧送） 【排水処理施設】



3 仮称北部事業予定地について

（仮称）北部事業予定地一般廃棄物最終処分場は、既存の山本、山口処理場の後継と位置づけ、平成 8 年度の事業方針決定後、住民説明、事業予定地内の現状有姿分譲地先行取得と並行して環境影響評価手続きを進めております。また、最終処分場の基準が強化され、しゃ水工の二重化や埋立後の地盤沈下を 10 センチ以内に抑えることが必要となったため、北部事業予定地では地盤強度を上げるため事前に載荷盛土を行う計画です。

(1) 事業規模等

項目	事業の規模及び計画の概要	
事業内容	一般廃棄物最終処分場の設置	
埋立対象物	不燃ごみ、焼却残渣	
埋立容量	2,421,000m ³ （うち廃棄物量 1,597,000m ³ ）	
対象地域面積	50.08ha	
埋立面積	25.4ha	
埋立年数	約 12 年（H22 年度埋立実績 105,000 トン/年で埋立した場合）	
埋立方式	準好気性埋立方式（平地層状埋立）	
主要設備	(1) 流出防止えん堤	土えん堤構造
	(2) しゃ水工	二重しゃ水構造
	(3) 外周雨水排水、雨水調整池	
	(4) 浸出水集排水渠、浸出水調整池、浸出水処理施設（下水道放流）	
	(5) 発生ガス対策設備	
	(6) 場内道路	
	(7) その他付帯設備	

(2) 事業スケジュール

- ・プレロード着手 平成 30 年度～
- ・貯留施設造成 平成 49 年度～
- ・ごみ埋立開始 平成 51 年度～

※今後のごみ埋立量により造成時期等が変更となる場合があります。

(3) 事業実施区域（札幌市東区中沼町 127 番地他）



北部事業予定地の事業概要 (別紙)

事業実施区域位置図



0 100 200 300 400 500m



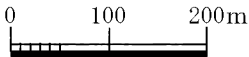
オオタカの繁殖確認状況

年	確認状況	
H20	(巣 No1) 繁殖成功	幼鳥 3 個体確認
H21	(巣 No1) 繁殖失敗	4 月に頻繁に巣を出入りする成鳥を確認
H22	(巣 No2) 繁殖失敗	5 月に抱卵、6 月に餌持ち飛翔を確認
	(巣 No3)	飛翔のみ確認
H23	(巣 No3) 繁殖成功	幼鳥少なくとも 2 個体確認
H24	(巣 No4) 繁殖成功	幼鳥 1 個体確認

確認された重要種

	事業実施区域及びその周辺で確認された重要種	福移湿原で確認された重要種
哺乳類	ヒメホリカワコウモリ、ヒナコウモリ、ウサギコウモリ	
鳥類	カワウ、オンドリ、ヨシガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ハチクマ、オジロワシ、オオワシ、オオタカ、ハイタカ、チュウヒ、ハヤブサ、チゴハヤブサ、チョウゲンボウ、ウズラ、クイナ、ツルシギ、タカブシギ、オオジシギ、ハリオアマツバメ、カワセミ、アカモズ、オオモズ	
魚類	エゾホトケドジョウ、イトヨ、イバラトミヨ、エゾトミヨ	ヤチウグイ、エゾホトケドジョウ、イバラトミヨ、エゾトミヨ
昆虫類	ルリイトトンボ、ナツアカネ、オオミズギワカメムシ、オオコオイムシ、クビボソコガシラミズムシ、キベリクロヒメゲンゴロウ、キベリマメゲンゴロウ、エゾコガムシ、ガムシ、ヘイケボタル、ハイイロボクトウ、ギンイチモンジセセリ、カバイロシジミ、スゲドクガ	キタイトトンボ、ルリイトトンボ、カラカネイトトンボ、アオヤンマ、ナツアカネ、マイコアカネ、オオコオイムシ、ゲンゴロウ、マルガタゲンゴロウ、ジャコウカミキリ、ギンイチモンジセセリ、ゴマシジミ、ヒョウモンチョウ
底生動物	マルタニシ、モノアラガイ	マルタニシ

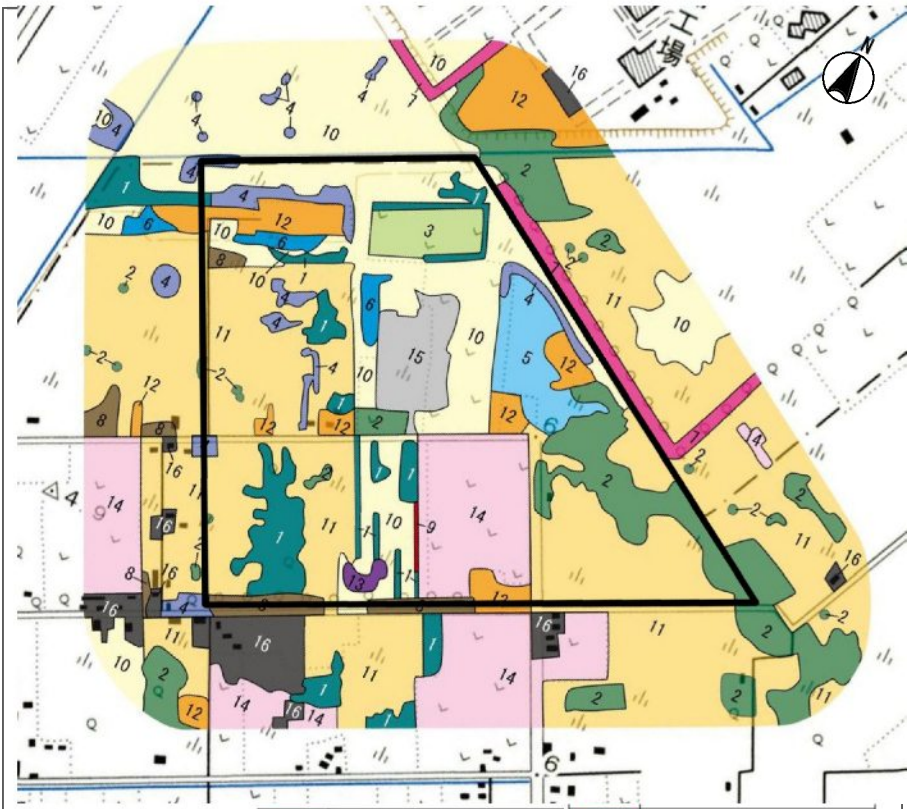
施設平面図



対象最終処分場事業の規模及び計画の概要

項目	事業の規模及び計画の概要
事業内容	一般廃棄物最終処分場の設置
埋立対象物	不燃ごみ、焼却残渣
埋立容量	2,421,000m ³ (内廃棄物量 1,597,000m ³)
事業実施区域面積	500,800m ² (50.08ha)
埋立面積	254,000m ² (25.4ha)
埋立年数	約 12 年
埋立方式	準好気性埋立方式(平地層状埋立方式)
主要設備	(1) 流出防止堰堤 : 土堰堤構造 (2) 遮水工 : 2重遮水工構造、表面保護法 (3) 外周雨水設備 : 素掘り側溝 (4) 浸出水集排水渠 : 幹線、支線 (5) 浸出水調整池 : 遮水シート、表面保護工 (6) 浸出水処理施設 : 凝集沈殿、調整池 (7) 発生ガス対策設備 : 堅型及び法面ガス抜き管 (8) 場内道路 : 舗装道、砂利道 (9) その他付帯設備 : 管理室、門扉、侵入防止柵、飛散防止柵、地下水モニタリング井戸

植生図



1	シラカンバー オオアワダチソウ群落	8	エゾニワトコ植林
2	シラカンバー クマイザサ群落	10	オオアワダチソウ群落
3	シラカンバ低木群落	11	クマイザサ群落
4	ヤナギー オオアワダチソウ群落	12	雑草群落
5	ヤナギ低木群落	13	アメリカセンダングサ 群落
6	ハリエンジュ群落	14	採草地
7	ヤチダモ植林	15	工事裸地
8	カラマツ植林	16	宅地



位置図
(札幌市東区中沼町)

※緑字：福移湿原のみで確認された重要種